

# 「全力平中」 夢を語り 夢を追う

平戸市立平戸中学校  
令和7年1月8日【学校だより】  
文責 木寺 剛

## 巳年 飛躍の年となりますように

新年あけましておめでとうございます。生徒の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さん、今年もよろしく申し上げます。今年も生活面では「笑顔」学習面では「続ける」を全校生徒、全職員が実践し学校生活を送っていきたいと考えています。

私は、1月1日の朝、大野町へ初日の出を見に行き、沢山の願いをしてきました。今年十二支では、巳年になります。巳年の由来として『漢書 律曆志』によると「巳」

は「止む」を意味する「巳」とされ、草木の成長が極限に達して、次の生命が宿され始める時期といわれています。さらに巳は、脱皮を繰り返して成長していくさまから、復活と再生のシンボルとして縁起の良い動物とも言われています。平戸中学校の子どもたち全員が、多くの学びを繰り返していく中で、逞しく成長してくれることを願っています。



## 失敗はした方がいい、失敗から学ぶことが多い

始業式では、私から「失敗はした方がいい、失敗から学ぶことが多い」という話をしました。また、1年生福本健太さん、2年生土田真白さん、3年生末吉唯織さんの3名が、各学年を代表し新年の抱負を述べました。3年生末吉唯織さんは、3学期は登校する日が少ないですが、新学年を迎える大切な準備期間になります。3年生全員で一丸となり、進路実現と卒業に向けて、全員で走り抜きたいと思えます。と力強く抱負を述べました。



始業式後に生徒

会引継式を行いました。引継式では前会長の新吉屋元太さんから新会長の松永朋華さんへ生徒会旗が引き継がれました。松永新生徒会長は「平中は最強 進歩した学校へ」をスローガンとし、これまで先輩方が築いてきた平戸中学校を、さらに良くしようと抱負を語りました。平戸中学校生徒全員で協力し、さらに素晴らしい平戸中学校にしてくれることを期待しています。

